

2024年度島津賞・島津奨励賞受賞者決定 ー 研究開発助成は23件を選定ー

島津科学技術振興財団主催の第44回島津賞が大阪大学産業科学研究所教授の永井健治氏に贈られました。同賞は科学計測の基礎的な研究における功労者を表彰するものです。永井氏は励起光を用いない生物発光で、その物理化学的性質を巧みに利用した改変により、独創的な発光性タンパク質を数多く開発してきました。また発光情報を

最大限に活用するイメージング装置も多数開発し、新しい研究分野を切り拓きました。なお、島津奨励賞には3名が選出され、科学計測に係る科学技術領域と新分野で独創的研究をする国内の45歳以下の研究者を助成する研究開発助成では計23件が採択されました。(2024.12.6)

シンガポールの国立病院と共同ラボを開所 質量分析技術で先端医療への貢献を目指す

島津製作所のアジア統括子会社 Shimadzu (Asia Pacific) Pte.Ltd. (SAP) は、Singapore General Hospital (SGH) と共同で「SGH-Shimadzu Personomics Centre」を2024年11月に設立しました。SGHは、シンガポール政府の100%出資で経営される非営利組織で、1821年の設立以来200年を超える歴史を持ちます。同センターはSGH内に設

立され、治療困難な細菌感染症治療に用いられる抗生物質の治療薬物モニタリングのワークフロー確立などの共同研究を行います。(2025.1.29)



共同ラボ開所式のテープカット
写真中央が当社社長 山本靖則

NHKの人気番組『魔改造の夜』に 「S津製作所」として出演

島津製作所および島津製作所グループ会社の社員が、NHK総合テレビの技術開発エンタメ番組『魔改造の夜』に「S津製作所」として出演しました。エンジニアらによって結成されたチームは、番組からの二つのお題「恐竜ちゃん 缶蹴り」と「ビニール傘 滞空時間マッチ」に挑戦しました。当社特設Webサイトでは、

「魔改造」された恐竜の玩具や傘の機構、技術者へのインタビュー動画などを掲載しています。(2024.11.12 / 2025.1.9)



『魔改造の夜』当社特設Webサイト



LGBTQ+に関する取り組み評価制度 「PRIDE指標」でシルバー認定

島津製作所は、企業でのLGBTQ+などの性的マイノリティ（以下LGBTQ+）に関する取り組みの評価制度「PRIDE指標」でシルバー認定を獲得しました。本認定は（一社）work with Prideが、企業・団体などの枠組みを超えてLGBTQ+が働きやすい職場づくりを日本で実現するために、2016年に日本の職場におけるLGBTQ+などへの取

組みの評価指標を策定したものです。(2024.11.4)



2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）で 産学共同研究成果のメディアアート 「Zero Gravity Art」を常設展示

京都大学防災研究所アートイノベーション産学共同研究部門教授・土佐尚子氏がアーティスト活動を行っている（株）NTアソシエーツとTOPPANホールディングス（株）、島津製作所は、3社による共同企業体「Zero Gravity Art」を通じて、大阪・関西万博の『未来社会ショーケース事業』『フューチャーライフ万

博・フューチャーライフエクスペリエンス』に協賛し、メディアアート「Zero Gravity Art」を常設展示します。(2025.1.21)



Zero Gravity空間(左)の中で投影される「Sound of Ikebanai」のイメージ

インドに新工場を建設、2027年稼働へ 販売会社も統合して事業体制を強化

当社は、高い経済成長が見込まれるインドの事業を強化するため、製造子会社 Shimadzu Manufacturing India Private Limited (SMI) を設立します。新工場は2027年春に竣工・稼働開始予定です。当社はこれまで製品を日本およびマレーシア拠点からインドへ供給していましたが、サプライチェーンを強化し、国産品優遇策に対応します。計測機器を製造し、将来的には医

用機器や産業機器の製造も検討します。また、2025年夏には計測機器と医用機器の販売会社を統合し、Shimadzu India Private Limited を設立予定です。両事業の統合で、両機器を使用する病院などの顧客との協力関係を強めます。2社の設立により、当社はインドにおいて2035年には約470億円(2023年比約2.6倍)の売上高を計画しています。(2025.1.20)

※NEWS & TOPICSでは法人名・団体名を以下のように省略しています。株式会社…(株)、国立大学法人…(大)、学校法人…(学)、公益財団法人…(公財)、一般社団法人…(一社)、相互会社…(相)、国立研究開発法人…(国研)
※記載されている会社名、製品名、サービスマークおよびロゴは、各社の商標および登録商標です。なお、本文中では「TM」、「®」を明記していない場合があります。※所属・役職は取材当時のものです。

＜読者のみなさまの声＞ ◆映画字幕翻訳で必ず名前を見る戸田奈津子さんの記事やインボスター症候群の記事など楽しく読みました。◆初めて拝見しましたが、とてもよい内容で驚きました。編集部の方のセンスのよさに敬服いたします。◆人の考えていることがよくわかり今後自分自身がどのような考えをすればいいの参考になります。年齢を増すごとに気にしなくなるところだとは思いますが自分と照らし合わせてみるいい機会になりました。◆表紙ストーリーを読んだ後、改めて表紙の写真を見る(観察する)と、「塗りたての花瓶を触ったかのように右手が写っているが、花瓶の手形の跡は左手であり、手についたペンキの位置も異なっている」とや、「このヒマワリは造花である」となど、最初に見たときには気が付かなかったことに気が付き、観察の重要性を認識しました。

＜編集部より＞ 島津製作所は3月31日に150歳の誕生日を迎えました。1875(明治8)年生まれです。仏具職人であった創業者の島津源蔵が、のれん分けにより京都の木屋町二条に居を構えたのが1860(万延元)年。その4年後には禁門の変により、市中の約3万戸が焼失するなど京都は焦土となり、騒乱のなか時代は維新へと大きくうねり出しました。坂本龍馬が新選組から襲撃された木屋町三条の池田屋と源蔵の住まいは目と鼻の先のほどところにありました。時代の変わりゆくさまを間近でみた源蔵は、明治の世になり西洋の科学技術に触れることになりました。いまは当社の資料館となっている創業の地は、当時のたたずまいを残し往時を偲ばせています。幕末の歴史に興味のある方なら見どころの多い場所ですので、ゆっくり散策を楽しまれてはいかがでしょうか。